

第2回定例会特集

未来の安全・安心確保へ、 景気、環境、福祉をさらに充実!!

5月25日、第1回臨時会において、大田区議会公明党古山昌子議員が副議長に就任。監査委員に丸山かよ議員。常任委員会、特別委員会もそれぞれ新たな体制でスタートしました。

新たな議会体制で第2回定例会を6月5日から6月16日まで開催されました。大田区議会公明党は、代表質問に清波貞子議員、一般質問に松本洋之議員、岡元由美議員が登壇、代表質問においては、中小企業支援、定額給付金および臨時生活給付金、さらに特定健診、女性のガン検診、保育園の施設設備、公園の実態とあり方について、一般質問では空港対策拡充への自主課税権、区の観光振興プラン、ヒブ(Hib)ワクチン接種助成制度、高齢者ほっとテレフォン、保育について主張を展開、提案しました。

■臨時生活給付金

区議会公明党は、定額給付金と子育て応援特別手当を受け取ることができないDV(配偶者からの暴力)被害者の方に、定額給付金等相当額が受けられるよう要望してきた結果、生活および子育ての支援のために「臨時生活給付金」が支給されることになりました。

■お問い合わせ先:

福祉管理課 庶務係
TEL.03-5744-1242



©NEW KOMIITO

■大森東特別出張所の改築

現在の大森東特別出張所は、昭和40年の建物のため老朽化が著しく、バリアフリーについても十分な対応ができていなかったため、改築移転することになりました。場所は、大田区土地開発公社が所有する大森南四丁目の土地で、産業支援事業の用地としても活用していきます。

また、出張所には事務スペース、会議室のほかに、防災機能を備えた倉庫を併設し、地域の安全・安心を高めていきます。

■佐伯山の有効利用

大田区中央5丁目にある土地(佐伯山)が、貴重な緑地を生かしベンチを設置してゆったりと休憩ができる公園になる予定です。

また、区議会公明党は、用地の一部に待機児の解消に向けた取り組みとして、保育園の建設をしよう要望し、実現の方向で進めています

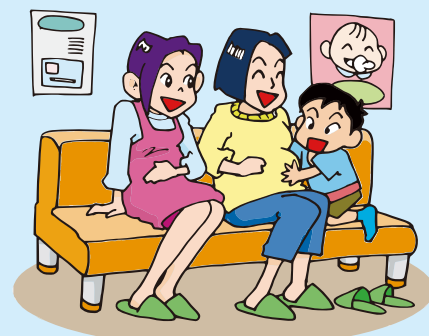


©NEW KOMIITO

■出産育児一時金

平成21年10月から平成23年3月までの間に出産した場合、出産育児一時金が42万円支給されます。それ以前に出産した場合は、38万円が支給されます。(平成23年度以降の措置は、今後さらに検討されます。)

さらに、区議会公明党の推進で、妊婦健診が14回受けられ、里帰り出産も健診の費用が一部助成されますので、安心して出産することができます。



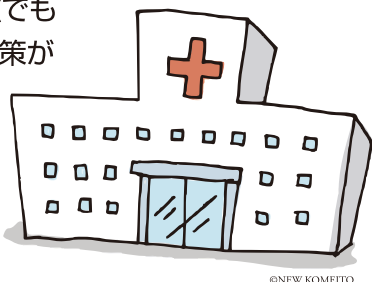
©NEW KOMIITO

一人の声を真剣に!!

新型インフルエンザ対策緊急要望書提出

今、世界的に新型インフルエンザの流行が心配されています。区議会公明党は、WHOが4月28日警戒態勢をフェーズ4*に引き上げ、アメリカでも緊急事態宣言を発した同日、羽田空港を抱え、多くの人移動する交通の結節点でもある大田区としても緊急の感染対策が必要であると松原区長に申し入れをいたしました。

これを受けて大田区は、新型インフルエンザ対策本部を立ち上げました。



<感染の心配があったら、まず発熱相談センターへ電話をしてください>

平日の午前9時から午後5時まで(平日のみ)

☐大田区保健所 保健衛生課 保健衛生担当
電話:03-5744-1263 FAX:03-5744-1523

早朝、夜間、土曜日、日曜日、祝日は、東京都発熱相談センターへ

東京都発熱相談センター(土曜日、日曜日、祝日は、24時間対応)
電話:03-5320-4509 FAX:03-5285-8080

※現在はフェーズ6になっていますが、区民の皆様には、今後も国、東京都および本区から発表される正確な情報に基づき冷静な対応をお願いいたします。

ヒブ(Hib)ワクチン接種助成制度創設の要望書提出

ヒブ(Hib)とは、「インフルエンザ菌b型」のことで、このヒブによって細菌性髄膜炎などが発症し、特に抵抗力を持たない乳幼児が生命の危険にさらされています。

細菌性髄膜炎は、脊髄や脳を守る膜(髄膜)に細菌が感染し、発熱・嘔吐・頭痛などの症状があり、死に至ることも多く、生存しても様々な後遺症を残す可能性がある怖い病気です。かかりやすい年齢は0歳(生後4ヶ月頃)から2歳までです。4歳を超えると罹患率は減っていきます。

ヒブ(Hib)ワクチンの予防接種は現在、各家庭の判断(任意接種)になっており、ワクチン接種費用は、1回当たり7,000円から8,000円かかり、接種は1回~4回必要とされていることから、ワクチン接種の助成制度を導入するよう要望いたしました。

大森日赤のサービス向上の要望書提出

地域の中核病院として大森赤十字病院に対して、女性医師による乳がん検診の充実、休日夜間のがん相談・検診の推進、女性専門外来の拡充を申し入れをいたしました。

児童・幼児用自転車ヘルメットの購入費用の助成署名約3万名分を提出

平成20年6月からの改正道路交通法の施行により、自転車の児童・幼児のヘルメットの着用が努力義務化されています。

自転車の転倒事故による頭部のけがを軽減させる効果の高いヘルメットの着用の普及促進を図るため、児童・幼児用ヘルメットの購入費用助成を求める署名を提出いたしました。

生命を守る がん対策の強化充実を求める署名を大田区で約13万名分を提出

国民の2人に1人が、がんにかかり、3人に1人が死亡するといわれています。がん対策へ区民の皆さまの関心が高まる中で、「生命を守るがん対策の強化充実を求める署名」を大田区で13万312人、東京全体として127万2637人の方に署名をいただきました。

東京都議会公明党と協力して、がん対策の切実な実態や要望を石原東京都知事に申し入れをいたしました。

第9回平和祈念コンサート



カンボジアの子どもたちへの教育支援

区議会議員全員が実行委員となって開催するコンサートです。カンボジアの子どもたちのために学校をつくる運動を進めているNPOを支援します。

■日 時:平成21年8月15日(土曜日)
午後1時開演(午後0時15分開場)

■場 所:大田区民ホールアブリコ

■入場料:全席2,000円(全席指定)

※詳しくは、各区議会議員にお問合せください。



溝口 誠



荒川 善夫



高橋 博



飯田 茂



冨田 俊一



清波 貞子



古山 昌子



渡部登志雄



松本 洋之



丸山 かよ



岡元 由美



勝亦 聡

お気軽にご相談ください

大田区議会公明党

TEL 5744-1488

FAX 3730-2668